

< 目 次 >

- 1 【復興支援】学校再開 ⇒ 家庭学習の必要
 - 2 【教育振興】テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動 2011
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【復興支援】学校再開 ⇒ 家庭学習の必要

震災から2か月が過ぎた現在も約90人が避難している大船渡北小学校体育館では、避難所から学校に通う子どもたちに「なんとか集中して勉強をさせてやりたい」という声が大人たちから上がりました。

そこで、支援物資の衣類が置かれていた2階の一角を整理し、子どもたちの勉強場所を確保し、さらに高校生向けには、医療チームが日中に「診察室」として使っているステージ袖の小部屋を開放することとしました。

避難所の消灯時間は午後9時ですが、この勉強スペースに限っては1時間延長しており、子どもたちは「学校の宿題は大変だけど、前よりも落ち着いて勉強できるようになった」と喜んでいるとのこと。

子どもたちを思う周りの大人の気持ちがあれば、十分なスペースがない避難所生活の中でも工夫してなんとかできるという良い例だと思います。学校生活が始まり、「家庭学習」も必要になってきます。その時に、避難生活だから「家庭学習」ができなくてもしかたがない・・・ではありません。

教育振興運動が始まった昭和40年。子どもたちに学習環境を整えようとリングボックス等を学習机として使いました。当時も今も、厳しい生活状況の中にあっても、子どもたちの力を伸ばしてあげたい気持ちは変わりません。

学校の授業は新しい知識を学び、それを理解する場。学んだ内容を忘れないよ

うに定着させるには、家庭での反復学習が必要となります。被災地においても、「家庭学習」と「読書」の時間は確保してあげたいものです。

2【教育振興】テレビ・ゲーム・パソコンを消して読書する共同行動 2011

5月30日（月）～6月5日（日）の1週間、テレビ・ゲーム・パソコンを消して、その時間を読書の時間にしませんか。今年で3年目を迎えたこの共同行動には、昨年度、県内197の幼稚園・小学校・中学校・高等学校等が参加しています。

今年は、あなたの学校も参加しませんか。教育振興運動の「読書活動の推進」の一環として、学校から各家庭に提案し、学校が提案と集約、各家庭が家族の協力と子どもへの励まし、地域の大人が登下校の際の励ましの声かけ、教育委員会がそれらの取組を広報で紹介する。

このように、それぞれの役割を明確にして1週間取り組めば、それはもう教育振興運動です。そこでは、教育振興運動の組織である必要はありません。この取組の感想や取り組んだ後の保護者アンケート等をPTA広報で特集すれば、それはPTA活動でもあります。

「ノー・テレビ・ディ」を実施した地域では、必ず「テレビ・ゲーム・パソコンを消すと、親子の会話が増える」とか「見る必要もないのに、ダラダラとつけっぱなしにしていたことに気付いた」という感想が寄せられます。

この取組は、岩手県小学校長会や岩手県中学校長会等が「やりましょう」と呼びかけているものです。また震災後、節電が続いている今、子どもたちに節電の取組として行動を促し、考えさせるいい機会となります。

共同運動の詳細 ⇒ <http://esd.iwate-u.ac.jp/entaku/KyodoKodo.html>

3【編集後記】あつしのひとりごと

広く浅く何でもやりたがる私の昨年度のマイブームは、ウクレレと燻製づくり。ウクレレはいつのまにか3本となり、燻製づくりは先週末も楽しみました。

そして、今のマイブームは、クラウン（道化師）です。GWに沿岸市町村に読み聞かせに行った際、県内で活躍しているクラウン・ロックさんと御一緒させていただきました。そのパフォーマンスに子どもたちは釘づけとなり、みんなが笑顔となっていました。

ロックさんが師匠と仰いでいるクラウンは、「全国の病院にホスピタル・クラウンを」と活動している大棟耕介さんです。「笑顔をくれた君へ」というテレビドラマ（2008年放送）のモデルになった方であり、また5月8日放送のドキュメンタリー番組「夢の扉+」でも、その活動の様子が紹介されていました。

ロックさんのパフォーマンスを見た直後に、大棟さんのホスピタル・クラウンという活動を知り、クラウン（道化師）との出会いに運命を感じています。早速、大棟さんの著書を読み、「笑顔をくれた君へ」を動画で見たのでした。

今では、子どもたちに遊んでもらい、笑ってもらえるクラウン（道化師）になりたい・・・と、マイブームは盛り上がる一方です。

今週末、28日（土）は陸前高田市の避難所（正徳寺）で、北上市立上野中学校の太鼓演奏とコラボレーション。子どもたちとバルーン・アートづくりで遊べます。また、29日（日）は、花巻市の「どでびっくり市」で絵本ソロ・ライブを行います。お近くの方は、遊びにきてください！

⇒ 第46号は、6月14日（火）配信です。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

★バックナンバー（第1～43号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zi.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

～～～配信元～～～

* 岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

* 発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

~~~~~